

1 単元名 「忘年会をしよう」

2 単元の目標

- ・自分も友だちも楽しめることを目指し、主体的に取り組む。 【関心・意欲・態度】
- ・これまでの学習の経験を生かし、自分の考えを適切に伝えたり分からない事を聞いたりしながら取り組む。 【思考・判断・表現】
- ・活動に見通しを持ち、自分の役割を果たす。 【知識・理解・技能】

3 基盤

<生徒観> <略>

<教材観>

本単元では、「話し合い」「準備」「当日を楽しむ」「振り返る」という一連の活動を通して、これまでの経験をもとに自分達で活動を考え、みんなが楽しめるものを作り上げていくという学習活動に取り組んでいく。

会を開く活動について

友だちと一緒に案を出し合い、準備をし、当日を楽しむことのできる体験を通して、お互いの存在を認め合い仲間がいるから楽しいという思いを実感していけることを期待したい。会の内容には、ゲームや調理活動、会食、特技や好きなことの発表等、生徒の実態や興味関心に沿った内容を取り入れることができ、一人ひとりのできることや意見を反映しやすい。また、会の中で必要なグッズも多様に考えられ、話し合い活動は難しいが制作活動を中心に取り組むことができる生徒も主体的に参加することができる。このように、自分の力を発揮しながら友だちと力を合わせて活動していく場を設定することができ、お互いを認め合いながら目標に向かって進んでいく集団づくりにつながっていくことができると考える。

忘年会について

「忘年会」という言葉は、耳にしたことのある生徒もいればイメージが湧きにくい生徒もいると考えられる。大人社会で用いられることが多い「忘年会」という言葉から、これまでのお楽しみ会よりも一味違った特別な意味を持たせることでより意欲的に、また、大人への憧れを抱きながら取り組むことができるのではないかと考える。年末の行事であり、季節にちなんだ活動や飾りを考えたり、古くから伝わる風習(除夜の鐘)にも触れたりすることができる。自分の頑張りや課題を振り返ったり、友だちの頑張りや認め合ったりしながら1年間を振り返り、来年に向けての新たな決意を持つ機会となることを期待したい。

<指導観>

指導にあたっては、以下のことを大切にしていく。

主体的な活動

- ・生徒が得意なこと好きなこと、これまでの経験を生かして取り組めることを活動の中に取り入れる。
- ・選択する場面や自分達で話し合っ決定していく場面を設定し、自分の思いを表現しながら取り組めるようにする。
- ・個々の実態に合った活動を設定する。「できた」という実感が持てるよう、必要に応じて個別の手順表や支援ツールを準備する。
- ・ペア等、小人数で取り組む活動を設定し、自分達の役割を意識し責任感をもって取り組めるようにする。
- ・毎時間の導入と振り返りは日直が司会をし、自分たちで進めていくという意識がもてるようにする。
- ・教師は共に作り上げていく仲間として一緒に活動に参加する。

集団での活動

- ・友だちを認めたり思いやったりする姿をその都度書き留め、視覚的に見える形で掲示することで、より良く活動を進めるためにはどうしたらよいかに気づいたり、意識したりできるようにする。
- ・話し合いは、司会者を中心に進め、生徒同士のやりとりを深めていけるようにする。適切な伝え方についてはその都度見本を示す。

- ・自分の役割だけでなく、友だちの役割にも目をむけていけるよう、それぞれの活動を発表したり、お互いにアドバイスを伝え合ったりする機会を設ける。
- ・生徒の意欲や発想を可能な限り尊重していく。その中で、与えられた条件を受け入れたり自分と他者との気持ちをすり合わせたりしながら活動に向かうことができるような言葉かけをする。

学習の見通し

- ・活動のスケジュールを視覚的に示し、自分が何をするのかをいつでも確認できるようにする。
- ・全体スケジュールでの理解が難しい生徒には、個別のスケジュールを準備する。
- ・毎時間の始めに、今日の目標を確認し、到達目標を意識できるようにする。
- ・毎時間の活動や決まった内容を教室に掲示しておき、生活の中で意識したり活動の経過をいつでも振り返って見たりすることができるようにする。

4 単元計画 (全16時間 本時 3, 4時間目) (2段に分かれているものは、下段がA児の活動)

期日	学習の目標	主な活動
11/24 (金) ①②	・当日までの見通しを持つ ・会の中で行う内容の計画をたてる。 ・会で必要なグッズを作る。	・話し合い (コーナー決め、担当決め) ・担当コーナーの計画表作り ・制作 (iPadを使ったプログラム作りの練習)
28(火) ③④ 本時	(本時のねらい)	・話し合い (計画表へのアドバイス等) ・各コーナーや会全体で必要な物の準備、制作。 ・制作 (iPadを使ったプログラム作り)
30(木) ⑤⑥	・友だちと協力したり工夫したりしながら除夜の鐘を作る	・作り方を考える。必要な道具を揃える。制作。
12/1(金) ⑦⑧	・完成をイメージしながら、大きさや色、素材の使い方を工夫しながら作る。	・鐘の制作 【美術】
5(火) ⑨⑩	・除夜の鐘を完成させる。 ・会で必要な物を考えて準備をする。	・鐘の制作 ・打ってみよう ・各コーナーや会全体で必要な物の準備
7(木) ⑪⑫	・当日の流れを意識して準備をする。	・各コーナーや会全体で必要な物の準備 ・買い物
12(火) ⑬⑭	・会の中で、自分の役割を果たしたり、友だちと一緒に楽しんだりする。	1-1 2017忘年会
13(水) ⑮⑯	・活動を振り返り、楽しかった事や気づいた事、お互いの良かった事等をまとめる。	・忘年会の振り返り、文字や写真でまとめる。 【国語】

5 本時の学習

(1) 本時のねらい

- ・話し合いの中で、みんなで楽しめるようなやり方を考えたり、会を盛り上げるためのグッズを作ったりと、主体的に取り組む。 【関心・意欲・態度】
- ・自分の考えを適切に伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら取り組む。 【思考・判断・表現】
- ・活動に見通しを持ち、自分の役割を理解して取り組む。 【知識・理解・技能】

(2) 生徒の実態とねらい、評価基準 < 略 >

(3) 本時の展開 別紙

6 評価

- ・本時の目標を達成することができたか。
- ・単元構成、ねらいの設定、学習活動、支援の仕方は適切であったか。

時間	学習活動	CTの支援 (●)	生徒の目指す姿 (・) と教員の支援 (●CT ○AT)					準備物		
			A (佐)	B (田)	C (土)	D (室)	E (渡)		F (中)	G (仁)
10:45	1 あいさつ 2 活動の確認 ・今日の流れ ・今日の目標 ・スローガン ・プラスエネルギーについて ・活動の具体的な説明	●足裏に意識を向けるような言葉かけをする。 ●自分の活動がいつでも確認できるよう、「本時の流れ」や「目標」を視覚的に示す。 ●前時までにたまった、プラスエネルギー言葉を提示し、より良い伝え方や態度を意識できるようにする。	・今日の目標「プログラムを完成させる」を確認する。 ○見通しが持てるよう個別の予定表を提示し、再度、横で確認する。	・姿勢を正し、日直の号令に合わせて挨拶をする。 ・日直の言葉に意識を向け、今日の活動や目標を確認する。 ・本時の目標「気持ちを伝えながら準備をする」を確認する。 ・プラスエネルギーの表を見ながら、友だちと協力して取り組むことに意識を向ける。			・前に立ち、台本を手がかりに、今日の流れ等を全体へ伝える。 ●手元から顔を上げて伝えることができるよう「今日の目標」等を棒で示し、部分的に補助をする。	・姿勢を正し、日直の号令に合わせて挨拶をする。 ・日直の言葉に意識を向け、今日の活動や目標を確認する。	・単元の予定表 ・本時の流れ、目標 ・個別の予定表(A) ・スローガン ・プラスエネルギー表 ・付箋 ・司会の台本	
11:00	3 計画表の作成	●それぞれの箇所を回り、作成の助言をしたりやりとりの補助をしたりする。 ●生徒の様子に応じて活動時間を変更する場合もある。	・CTの話と手順表とで活動内容を理解する。 ・道具の準備をする。 ・iPadで文字入力しながら、プログラムをつくる。 ○思いを引き出しながら制作の補助をする。	・「ゴルフ」の計画表を作成する。 ●計画表の見本を提示しイメージが持てるようにする。 ●やり方(ルール)、準備物、場所の配置等、考える視点を提示し、何について話し合えばよいか分かるようにする。 ・自分のできることを見つけ、友だちと協力して取り組む。 ・計画表が完成したら、必要な道具等の制作や準備をする。		・「バドミントン」の計画表を作成する。		・友だちと役割分担しながら取り組む。	・計画表見本 ・画用紙 ・マジック ・定規 ・白い紙 ・iPad ・プリンター	
	(4休憩)	●生徒の様子と活動の流れを考慮し、必要であれば休憩を設ける。		・休憩をとる場合は、後半の活動内容を確認してから休憩をする。						
11:30	5 計画表の発表	●聞く時の視点「みんなが楽しめるためには」を示す。 ●話し合いの内容が視覚的に分かるよう整理しながら出た意見等をWBに記録する。	・途中経過をCTに報告したり、友だちに紹介したりする。 ○形式的な報告にならないよう、生徒の伝えたい思いをくみ取りながら報告や紹介ができるようにする。	・作成した計画表に沿って活動内容を紹介し、どのようにしたらみんなで作れるか、意見を出し合う。 ●何について考えれば良いかが理解しやすいよう、実際に動いたり、具体物を用いながら話し合いを進めていけるようにする。 ・話し合いの流れに沿って自分の考えを発表したり、友だちの意見を聞いたりする。			●話し合いの内容が理解しやすいよう、必要に応じて考えるポイントを視覚的に伝える。	●顔を上げて発表するよう言葉かけをする。	・自分の意見を伝えつつ、司会者として友だちの意見を聞いたり、まとめたりする。 ●適宜、発言者となり、提案をしながら話し合いがまとまるよう流れを作る。	・聞く視点 ・話し合うポイント(G用)

	6各コーナーの準備やその他の準備	<ul style="list-style-type: none"> ●終了時刻を予告し、見通しを持って取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の入力が終わったら、プログラムの台紙に貼ったり、装飾を作ったりする。 ○集中力や体調面を考慮しながら必要に応じて終了時間を個別に設定し、「活動をやり切って終わり」という達成感が持てるようにする。 	<p>【各コーナーの準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと協力し、話し合いで出たアドバイス等を取り入れながら必要な準備をする。 ●活動が止まった時は、ペアの友だちに聞くよう促したり、自分ですることを見つけられるような言葉かけをする。 ●一人で活動を進めることなく、友だちと分担しながら進めていけるよう言葉かけをし、その姿が見られた時は具体的に褒める。 <p>【その他、必要なものの準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各コーナーの準備が早く終わった場合、会で必要な物を考え、自由に制作する。 ●それぞれの自由な発想を認める言葉かけをする。何を作ってもよいか分からない生徒には、会を盛り上げたいという気持ちを引き出しながら一緒に考えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●工夫している部分や、友だちと声をかけ合い協力できている姿を褒め、充足感を持って取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・はさみ ・画用紙 ・段ボール ・折り紙 ・ひも ・テープ類 等
12:05	7 振り返り ・各活動の発表	<ul style="list-style-type: none"> ●自分から机と椅子を通常の状態に戻すことが意識できるよう、前に立ち、振り返りを始める流れを作る。 ●発表では、一人の人だけが発表をする形にならないよう、「発表する事」を視覚的に示し、伝えるべきことを分かりやすく示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前に立ち、制作したものを提示し、作った物の名前や感想を発表する。 ・友だちの考えを聞きながら、プログラムに順番をつける。 ●自分の言葉で伝えられる部分は、短い言葉で伝えられるよう質問等をして促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A児の作ったプログラムを見ながら、会の中での順番を決める。 ●積極的に意見が述べにくい生徒にも質問をし、全員の同意で決定するような言葉かけをする。 ・「自分がやった事」や、感想を、自分の言葉で発表する。 ●自分なりに考えて出た発言を認め、質問をしながら思いを引き出せるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前に立ち、台本を手がかりに、振り返りの司会をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・司会の台本 ・プログラムの番号札 ・発表すること ・改善点や工夫したこと等を考え、分かりやすく伝える。 ●工夫する姿や分かりやすく伝える姿を認め、自分の発言によって友だちの考えも広がっていく良さを伝える。
12:25	9 あいさつ ・教師の話	<ul style="list-style-type: none"> ●それぞれの良かった姿や、課題、次回の予定を伝え、達成感を味わい次回への意欲を持って終えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○除夜の鐘の音を、鳴らし、次回への意欲が持てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で見られた「プラスエネルギー」について振り返り、お互いの良かった姿を認め合い、より良い関わり方を共有する。 ・次回の活動の見通しを持つ。 ・姿勢を正し、日直の号令に合わせて挨拶をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・プラスエネルギー表 ・iPad